

< 概要 >

WAGO-I/O-SYSTEM750 シリーズ Ethernet バスカプラ / コントローラ 750-841/341/842/342 への IP アドレス書込みは WAGO BootP Server にて行います。

< インストール >

このソフトウェアは弊社 URL から無償でダウンロードできます。

<http://www.wago.com/cps/rde/xchg/SID-53EFFEF9-0618935B/wago/style.xsl/jpn-26671.htm>

ダウンロードファイルを解凍後”boot_p”フォルダ内にある”SETUP.exe”を実行すると自動的にインストールが実行します。

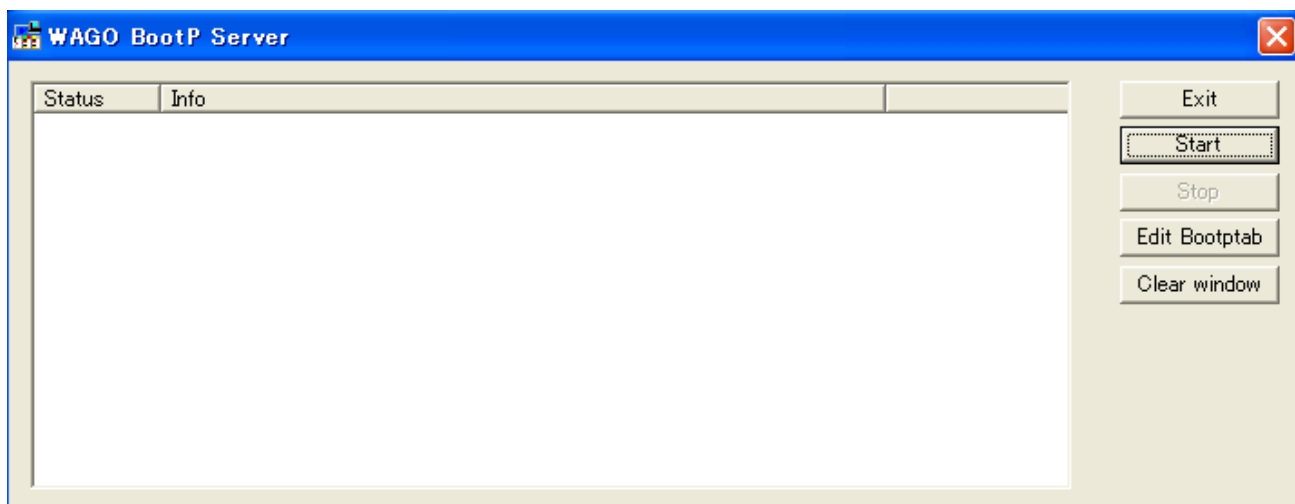
< 設定環境 >

IP アドレスを設定するバスカプラ / コントローラ (以下バスカプラ) に I/O モジュールを差してノード構成し、電源を入力できる状態にし、スイッチングハブを介して PC とノード間を LAN ケーブル (ストレート) で接続してください。

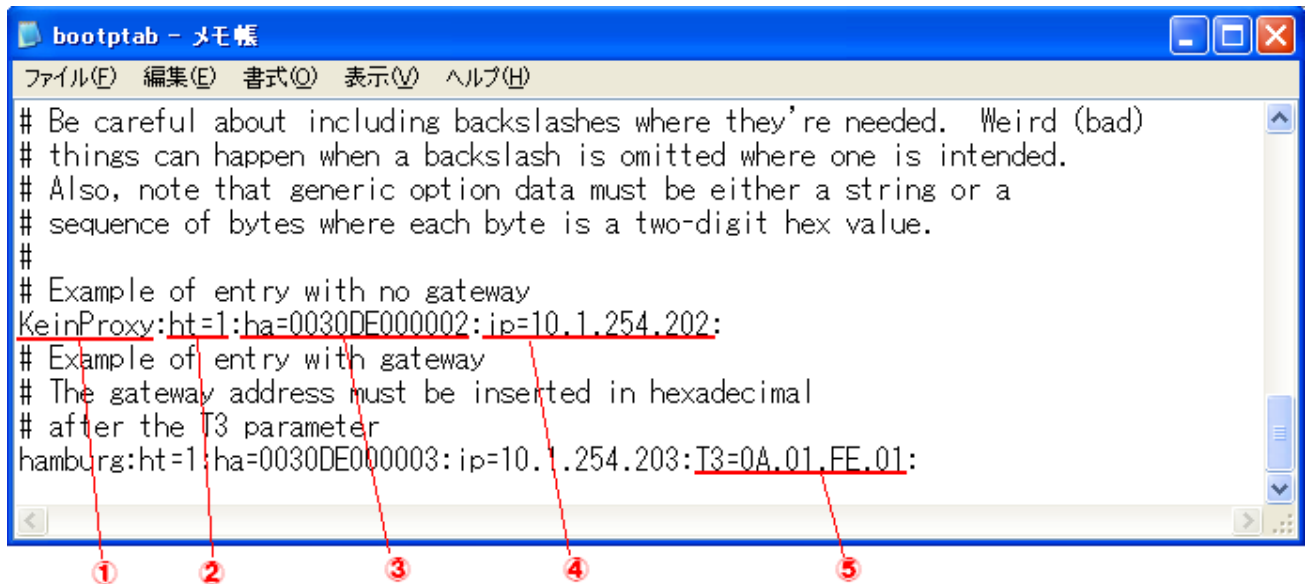
注意：PC とノード間をクロスケーブルで直結するとうまく設定できない事があります。

< BootP テーブルの編集 >

Windows から、スタートメニュー / プログラム / WAGO Software / WAGO BootP Server と選択するとソフトウェアが立ち上がります。



“Edit Bootptab”を実行すると、以下の様に BootP テーブル (テキストファイル) が表示します。テーブル内の文書の先頭にある「#」マークは解説コメント用タグですので実行には関係ありません。デフォルトでは「#」マークの無い文書が 2 つあります。これは「ゲートウェイ無し」と「ゲートウェイ有り」のサンプル記述ですので、実際に使用する際は 1 つだけなので使用しないサンプル記述には「#」マークを付けてください。



```

# Be careful about including backslashes where they're needed. Weird (bad)
# things can happen when a backslash is omitted where one is intended.
# Also, note that generic option data must be either a string or a
# sequence of bytes where each byte is a two-digit hex value.
#
# Example of entry with no gateway
KeinProxy:ht=1:ha=0030DE000002:ip=10.1.254.202:
# Example of entry with gateway
# The gateway address must be inserted in hexadecimal
# after the T3 parameter
hamburg:ht=1:ha=0030DE000003:ip=10.1.254.203:T3=0A.01.FE.01:
  
```

- : ノード名 半角アルファベットと数字を使って任意のノード名を記述します。
- : ハードウェアタイプ Ethernetのハードウェアタイプは「1」ですのでここは
変更しないでください。
- : MAC アドレス IPアドレスを設定するバスカブラに割り当てられたMACアドレスを
記述します。MACアドレスは本体にシールで明記されています。
- : IP アドレス 設定したいIPアドレスを記述します。
- : ゲートウェイ バスカブラがゲートウェイ（ネットワーク）の外にある場合は
経由したいゲートウェイアドレスを「T3=」の後に記述します。
ここでの記述は16進数で行ってください。

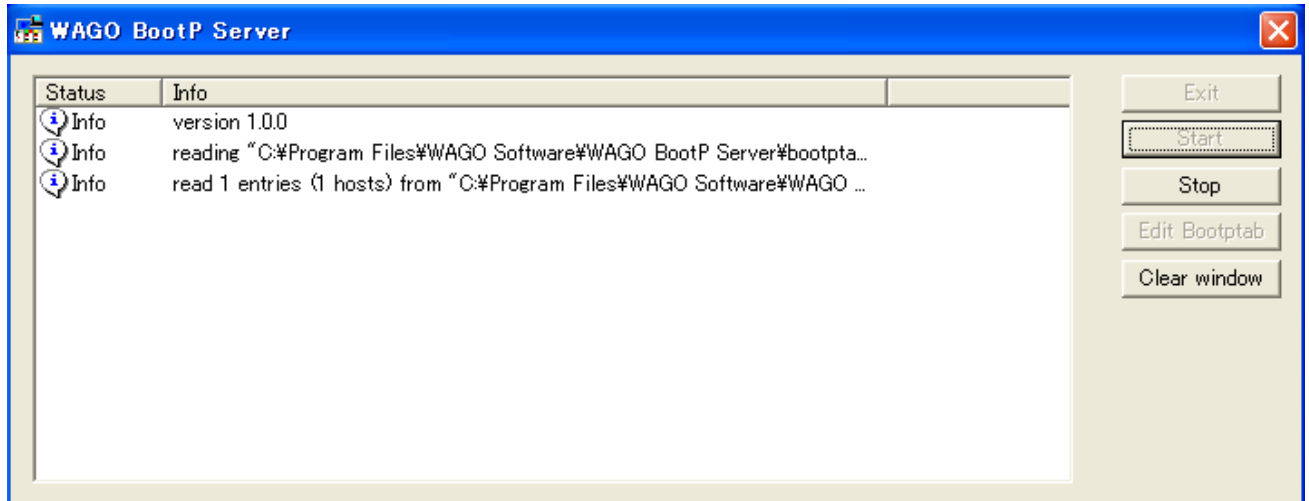
サブネットマスク(sm)とデフォルトゲートウェイ(gw)を設定するには、IPアドレスに続いて以下の様に記述してください。

KeinProxy:ht=1:ha=0030DE000002:ip=10.1.254.202:sm=255.255.255.0:gw=10.1.254.1

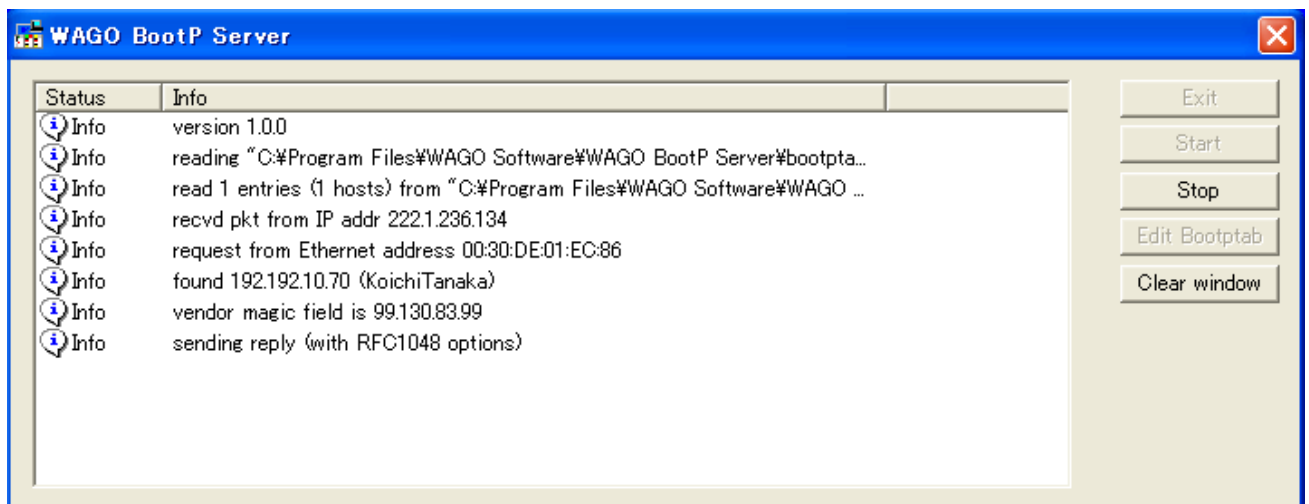
全ての編集が終了したら「上書き保存」してください。
保存後はテキストファイルを閉じて構いません。

< WAGO BootP Server の実行 >

“Start”を押して設定を実行すると、以下の様に 3 行のメッセージが表示します。



ここでノードの電源を起動します。もし再起動する場合は電源 OFF 後 2 秒以上経過してから再起動してください。以下の通り設定したノード名、IP アドレスが表示されます。



“Stop”を押してプログラムを終了させます。

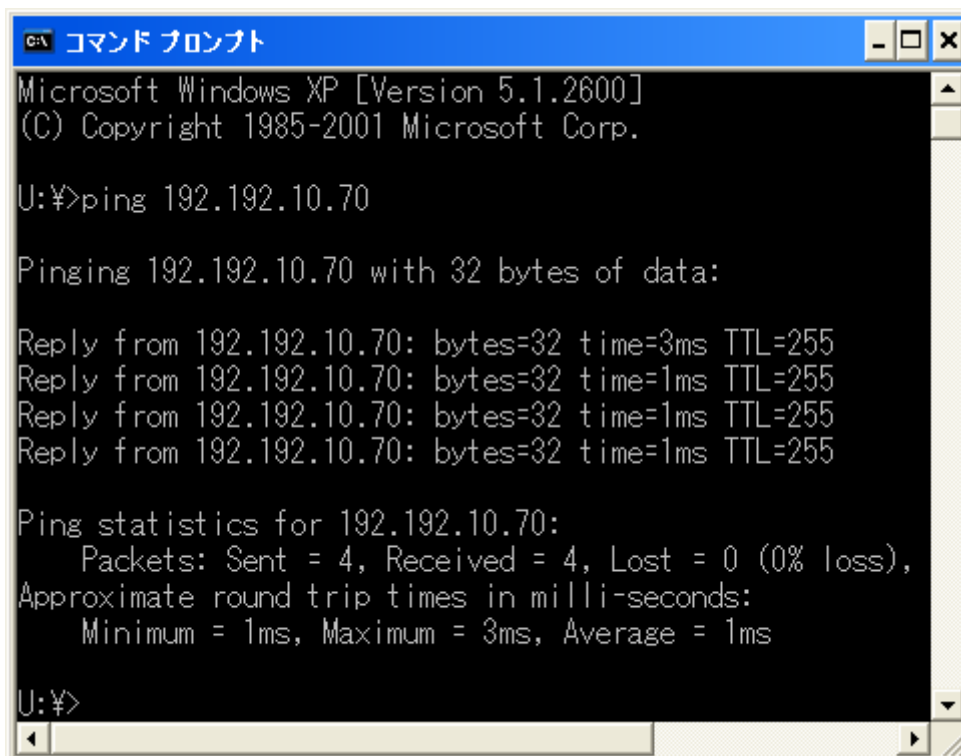
< IP アドレス確認 >

IP アドレスが確実に設定されたか確認するには以下の2つの方法があります。

コマンドプロンプトによる確認

Windows のスタートメニューから「コマンドプロンプト」を選択肢実行します。

Dos の「ping」を実行します。Ping コマンドに続いて設定した IP アドレスを入力し実行すると、正しく設定されていれば以下の通り応答が帰ってきます。



```
C:\ コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

U:¥>ping 192.192.10.70

Pinging 192.192.10.70 with 32 bytes of data:

Reply from 192.192.10.70: bytes=32 time=3ms TTL=255
Reply from 192.192.10.70: bytes=32 time=1ms TTL=255
Reply from 192.192.10.70: bytes=32 time=1ms TTL=255
Reply from 192.192.10.70: bytes=32 time=1ms TTL=255

Ping statistics for 192.192.10.70:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum = 1ms, Maximum = 3ms, Average = 1ms

U:¥>
```

ブラウザ (Internet Explorer) による確認

ブラウザに「プロキシ」が設定されている場合はこれを外します。

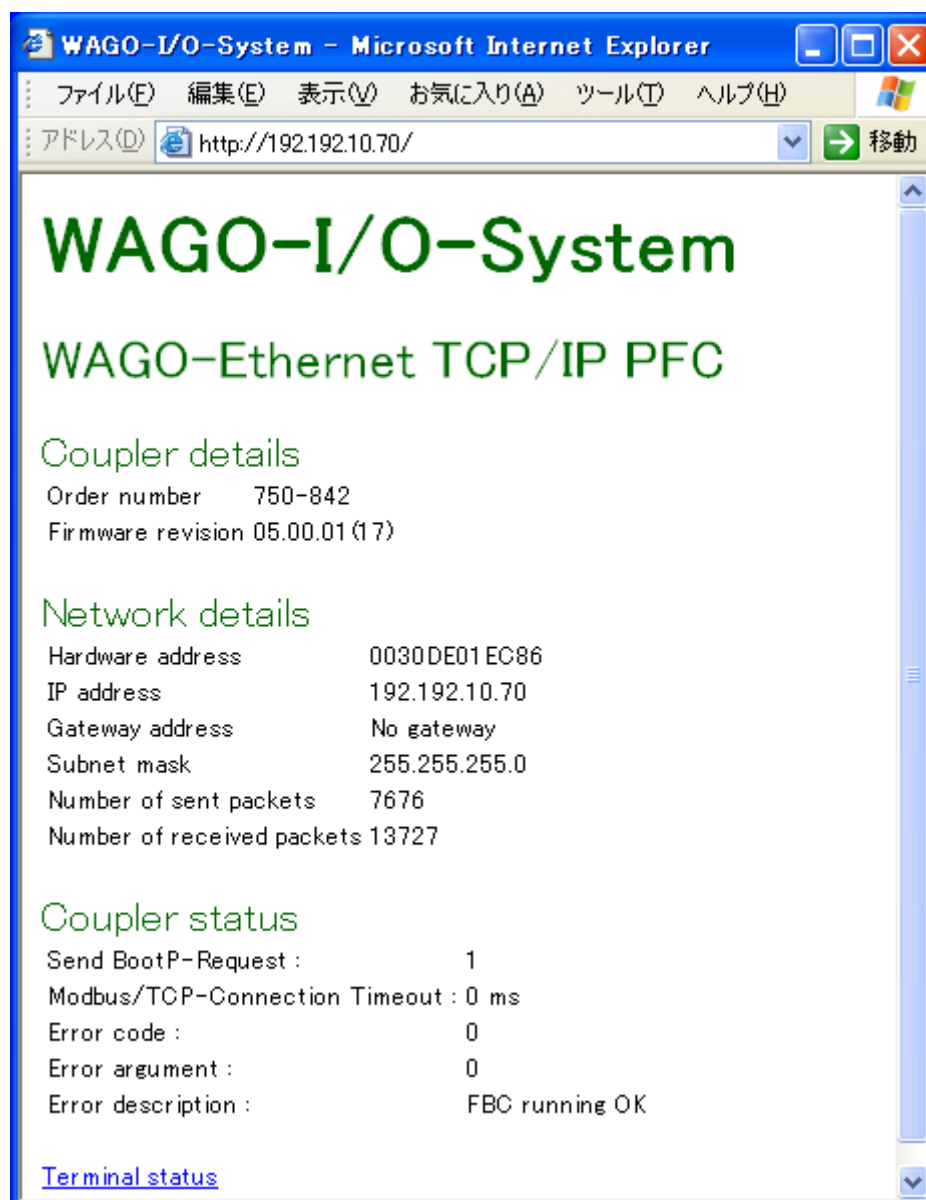
外すには Internet Explorer の「ツール」メニューから「インターネットオプション」 「接続」 「LAN の設定」でプロキシサーバの項目のチェックボックスを外してください。

Internet Explorer アドレスバーの以下の通り入力し実行します。

<http://xxx.xxx.xxx.xxx> (xxx.xxx.xxx.xxx : IPアドレス)

IP アドレスが正しく設定されていれば以下の通りバスカブラの HTTP ファイルが表示します。

(注：以下図は 750-842/342 での表示画面です。750-841/341 では違うフォーマットの画面です。)



以上